

DVD-ROM/CD-ROMオートチェンジャー

DRM-E50



高調波ガイドライン適合品

「据付工事」について

- 本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または取扱店にご依頼ください。
- なお、据付け、取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任をおいませ

取扱店様・工事店様へ

この取扱説明書は据付終了後お客様に必ずお渡しし、取扱いの方法の説明を行ってください。



パイオニアの製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
取扱説明書は後々お役に立つこともありますので保存してください。

本機のご使用にあつたては専用のアプリケーションが必要となります。詳しくは取扱店にお問い合わせください。

目次

| | |
|---------------|-------|
| 安全上のご注意 | 2 ~ 5 |
| 取扱上の注意 | 6 |
| 付属品の確認 | 6 |

| | |
|--------------|---|
| 接続のしかた | 7 |
|--------------|---|

| | |
|----------------|---|
| 各部の名称 | 8 |
| 前面部 | 8 |
| ドアを開いた状態 | 8 |
| 後面部 | 9 |

| | |
|-----------------------|----|
| ディスクを入れる・交換する | 10 |
| ファンクションスイッチについて | 12 |

| | |
|--------------------|----|
| 仕様 | 13 |
| アフターサービスについて | 14 |

使用上の注意

接続

各部の名称

操作

その他

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意

警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して本機の取扱店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本機の取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本機の取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

警告

| | |
|---|---|
| <p>〔設置〕 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。</p> |  禁止 |
| <p>〔使用環境〕 この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。</p> |  禁止 |
| <p>洗面所等の湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> |  禁止 |
| <p>表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> |  100V以外禁止 |
| <p>この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p> |  禁止 |
| <p>〔使用方法〕 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。</p> |  禁止 |
| <p>本機の隙間などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。</p> |  禁止 |
| <p>本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は本機の取扱店にご依頼ください。</p> <p>本製品は、精密機器のため、分解や移動が必要の際には必ず本機の取扱店に依頼してください。</p> |  分解禁止 |
| <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）本機の取扱店に交換をご依頼ください。</p> |  禁止 |
| <p>電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。</p> |  埃除去 |

使用上の注意

接続

各部の名称

操作

その他

⚠ 注意

〔設置〕

本機にディスクをセットした状態で衝撃などを与えたり、倒したりしないでください。



禁止

本機にディスクをセットしたまま移動しないでください。運搬、移動の際は、ディスクのセットされているディスクストッカーは取り外して運んでください。



禁止

水平で平面かつ堅牢な床である場所を選んでください。下記のような場所は避けてください。

- ① 直射日光の当たる場所やストーブなどの暖房機器のそば。
- ② 湿気やホコリの多い場所。
- ③ 洗面所や調理場の近く。
- ④ 振動や衝撃の影響を受けやすい場所。
- ⑤ 冷蔵庫や冷暖房機などの大容量配線の近くや、モーター類、調光器などの近く。
- ⑥ 動作時の環境温度が5 ~ 35 の範囲外となる場所。
- ⑦ サービス、メンテナンスがしにくい場所。

システムを壁ぎわへ設置する際、後側へ手が届くようにある程度隙間を開けてください。



禁止

チェンジャー本体の上に直接、指定された物以外の物を載せるのは避けてください。



禁止

チェンジャー本体をラックなどに収納する場合は、左右、上、後面それぞれ15mm以上の隙間を設け、且つ後面には上下吹き抜けの放熱穴を設けてください。



注意

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



確実に差す

電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



禁止

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



プラグを抜け

〔使用方法〕

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となることがあります。



禁止

特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



禁止

チェンジャーは外径 12cm のディスクのみ使用可能です。8cm アダプターを使用した場合、故障やディスクを破損する場合があります。



禁止

付属のドアキーはなくさないように十分気を付けてください。ドアキーがないとディスクの取り出し、挿入、交換ができなくなります。



注意

冬季などに、本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると動作部に露が付き、性能を十分に発揮できません。本機を設置した部屋を暖房する場合には、徐々に室温を上げてください。

結露がおこったら（結露の程度にもよりますが）、1～2時間そのまま放置して、本機を室温に保てば露が消え、再生できるようになります。

結露は、夏にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでもおこることがあります。その場合には設置場所を変えてください。



注意

使用上の注意

接続

各部の名称

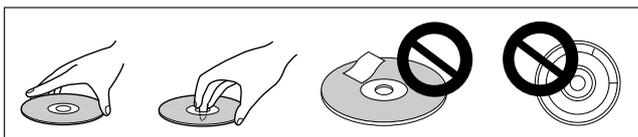
操作

その他

取扱上の注意

ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つ場合には、信号面をさわらないようにしてください。
- 両端を挟むようにして持つか、中央の穴と端を挟んで持つてください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けしないでください。また、レーベル面にもキズなどを付けないようにしてください。

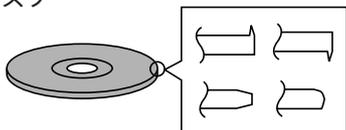


- ディスクはチェンジャー内で高速回転しています。異常なディスク（ひびが入ってしまったディスクや大きく反ってしまったディスク）は使用しないでください。
- 本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



以下のディスクはチェンジャーの動作でディスクに支障をきたしたり、ディスクの破損をおこす恐れがありますので使用前にご確認ください。

- 外周部に図のような著しいバリ（はみ出した部分）があるディスク
- 外周部のテーパまたはラウンド（丸み）が図のように極端に大きいディスク



本機の移動について

- 運搬・移動の際は、ディスクのセットされているディスクストッカーを取り外して運んでください。
- 本機の底面の左右は運搬の際に手が掛かりやすいようになっています。そこに手を掛けて持ち上げてください。本機は重量がありますので、十分にご注意ください。

本機にディスクをセットしたままの運搬、移動はしないでください。ディスクが内部に脱落し、故障やディスクの破損の原因となります。運搬、移動の際は、ディスクのセットされているディスクストッカーは取り外して運んでください。

ディスクの清掃

- ディスクの信号面に指紋やホコリがついた場合、汚れにより再生できなくなることがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、静電気防止剤などは使用できません。

本機のお手入れ

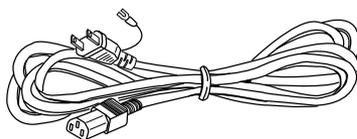
パネルやボンネットの清掃は、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、殺虫剤などの不揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。

付属品の確認

ドアキー（1個）



電源コード（1本）



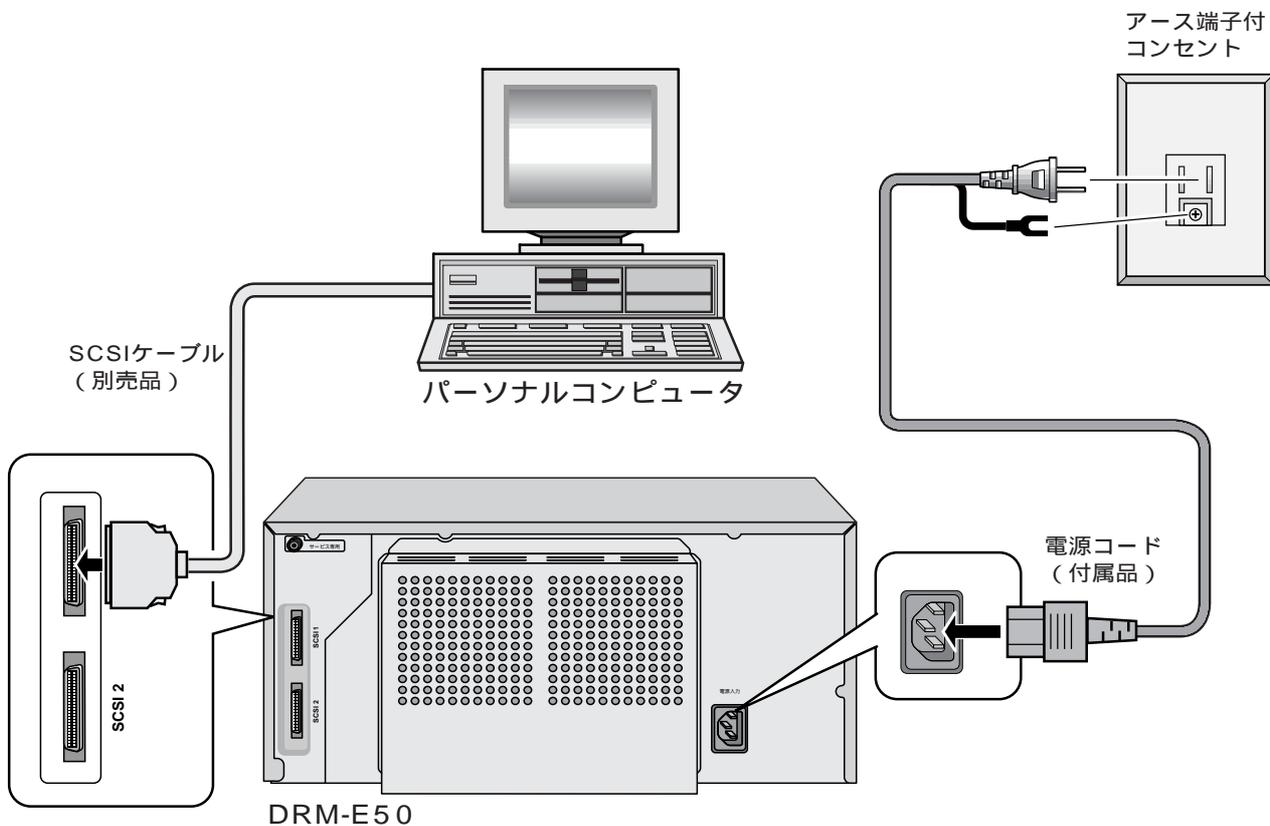
● 取扱説明書

● 保証書

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

- この説明は、DRM-E50をシステムに接続する箇所を説明しています。



接続時の注意

SCSIのID、ターミネータが確実に設定されているか確認してください。

使用上の注意

接続

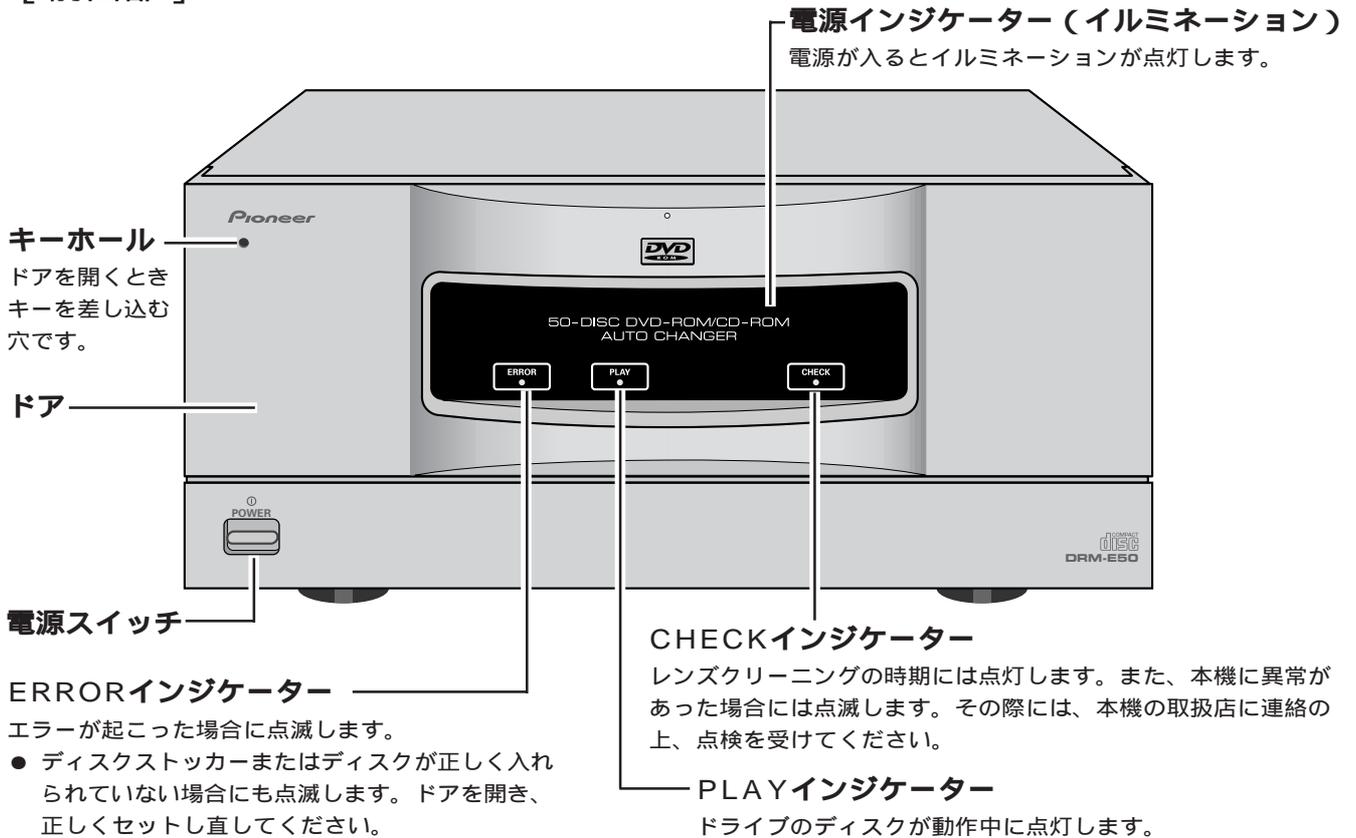
各部の名称

操作

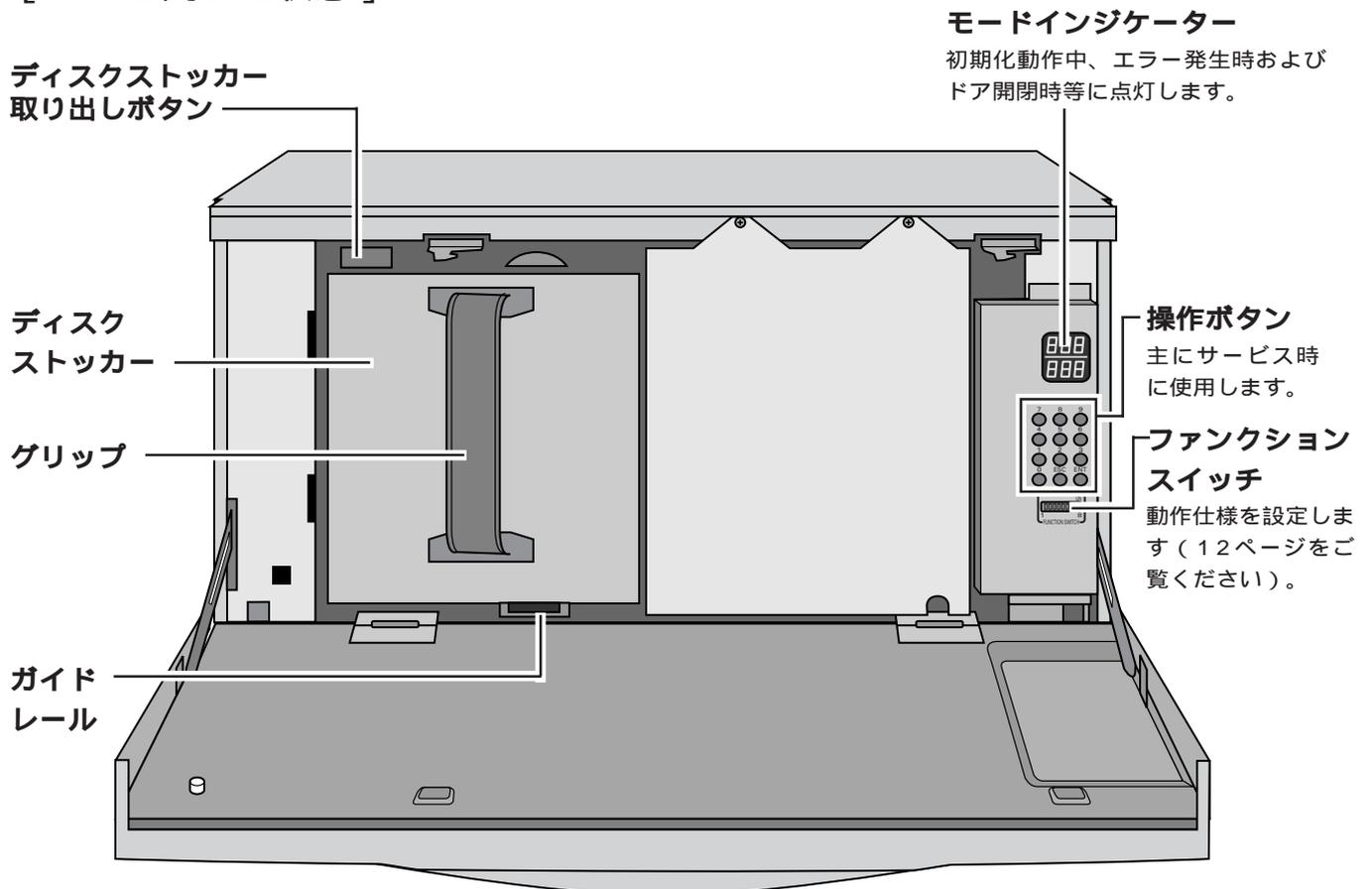
その他

各部の名称

[前面部]



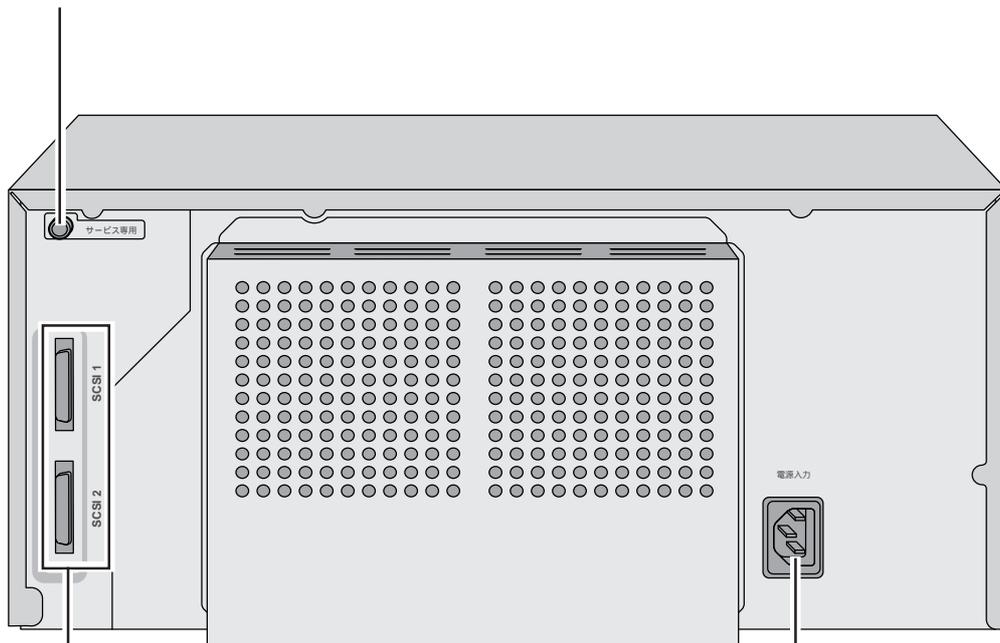
[ドアを開いた状態]



[後面部]

サービス用端子

サービス等で使用する出力端子です。

**制御端子1,2 (SCSI 1, 2)**

ハーフピッチ50ピン(くし形) SCSIコネクター
です。

電源入力ソケット

付属の電源コードでアース端子付き
電源コンセントと接続します。

使用上の注意

接続

各部の名称

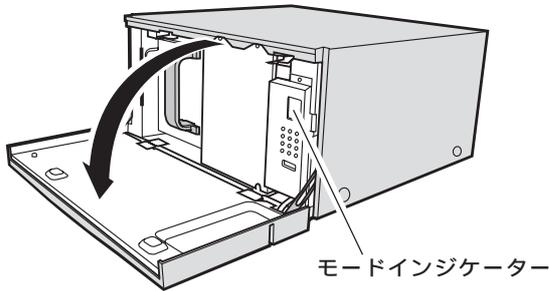
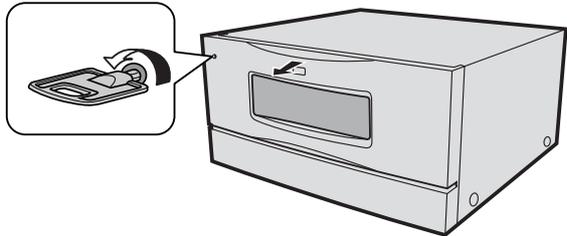
操作

その他

ディスクを入れる・交換する

ここでの1～5の操作は、電源の入っている状態で行ってください。

1. キーホールにキーを差し込み左方向へ回し、ドアを開ける。

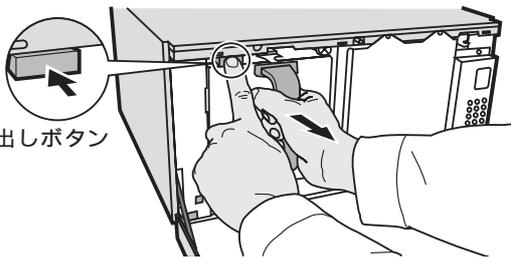


モードインジケター

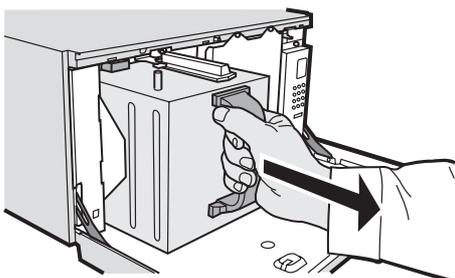
- ドアを開くとモードインジケターに "OP" 表示が点滅し、メカニズムを初期化します。
- 初期化を完了するとストッカーロックが解除され、モードインジケターに "OP - S" が表示されます。
- ストッカーロックが解除されるまでストッカーは引き出せません。
- ドアに5kg以上の物を載せないでください。

2. 取り出しボタンを押しながら、ディスクストッカーを手前に引き出す。

- モードインジケターの "S" が点滅に変わります。

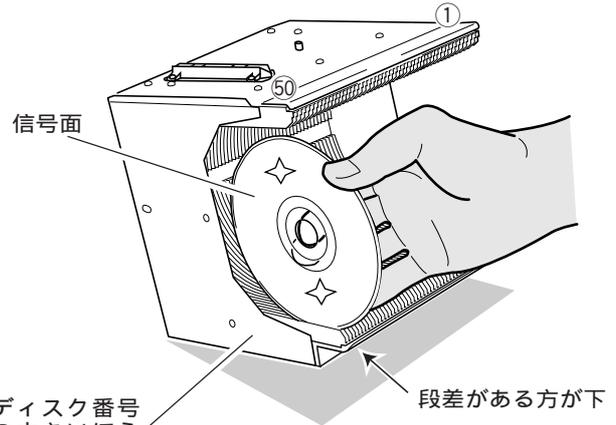


取り出しボタン



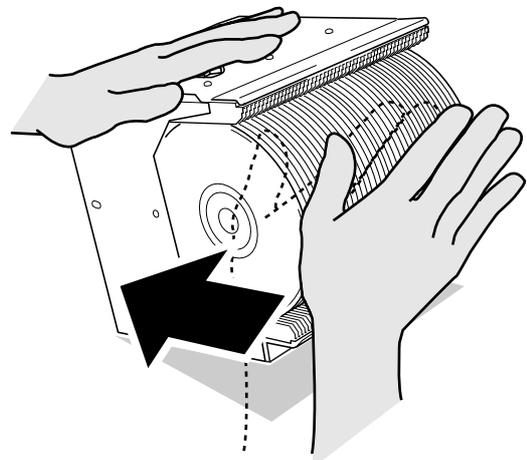
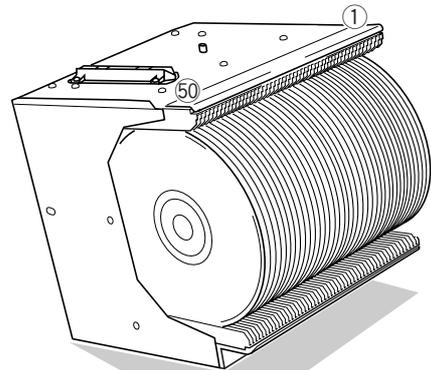
3. ディスクストッカーにディスクを入れる。

- ディスク番号の大きいほうを左側になるようにディスクストッカーを置いてください。
- レーベルが右側（信号面は左側）になるようにし、斜めにならないように（上下で別々の溝に入れないように）まっすぐに入れてください。
- 絶対に斜めにいれないでください。ディスクに傷を付けたり故障の原因となります。
- 最後にディスクを押しして奥まで入れてください。
- ディスクストッカーには、合計50枚ディスクを入れられます。



ディスク番号の大きいほうが左側

段差がある方が下



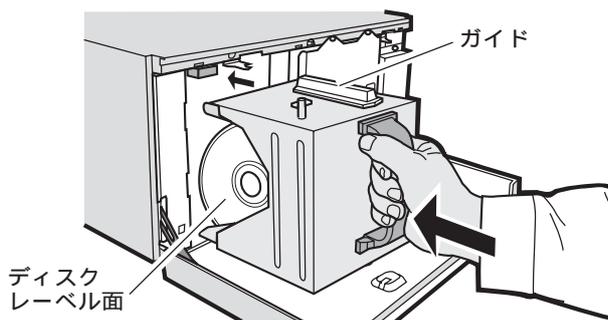
ディスクスロッカーにディスクを入れる場合は、以下のことに気を付けてください。

- レーベル面がディスクスロッカーのディスク挿入側から見て右側（ディスク番号の小さい側）に向くように入れてください。
- ミゾの位置を合わせ正しく入れてください。
- ディスクの記録面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクスロッカーにディスクを入れたまま下に向けたりしないでください。ディスクが落下します。



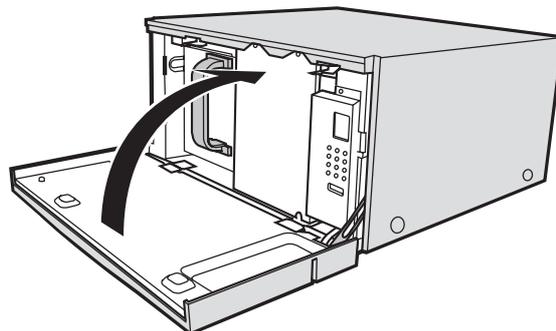
4. ディスクスロッカーを元のようにチェンジャーに入れる。

- ディスクスロッカーを挿入するときは、上下のガイドをチェンジャー内部のレールに合わせて入れてください。
- ディスクスロッカーをチェンジャーに挿入するときは、ゆっくりと挿入してください。強く急激に押し込むとディスクスロッカーに入っているディスクが飛び出し、故障やディスク破損の原因となります。

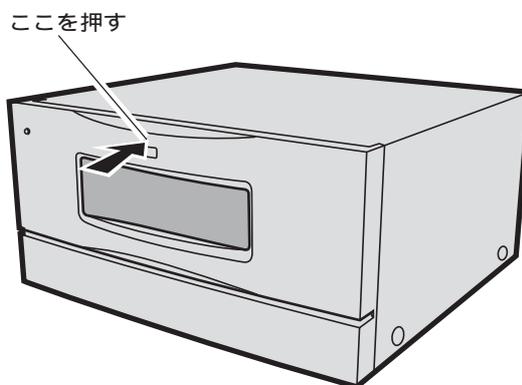


- "OP - S" の "-" 部分のみが点滅しているときは、ディスクスロッカーからディスクが飛び出していることが考えられます。ディスクスロッカーを取り出し、ディスクを正しく入れ直して、再びディスクスロッカーをチェンジャーへセットしてください。
- "OP - S" の "S" 部分が点滅しているときは、ディスクスロッカーが正しくセットされていません。ディスクスロッカーを取り出し、ディスクスロッカーをチェンジャーへ挿入し直してください。

5. フロントドアを閉める。



- 2箇所ロックが"カチッ"と確実に掛かるようにドア上端中央部を押してください。



- ERRORインジケータが点滅する場合は、ディスクスロッカーからディスクが飛び出していたり、ディスクスロッカーが正しくセットされていないことが考えられます。このようなときは、ドアを開けて正しくセットし直してください。

本機にディスクをセットしたままの運搬、移動はしないでください。ディスクが内部に脱落し、故障やディスクの破損の原因となります。運搬、移動の際は、ディスクのセットされているディスクスロッカーは取り外して運んでください。

使用上の注意

接続

各部の名称

操作

その他

ファンクションスイッチについて

ファンクションスイッチの設定

- ファンクションスイッチの設定によって動作仕様を選択することができます。
- ファンクションスイッチは、フロントドアを開けた状態でないと操作できません。
- ファンクションスイッチは8つで、左がスイッチ1、右がスイッチ8です。スイッチは工場出荷時には2が上側、それ以外は全て下側になっています。
- ファンクションスイッチの設定が違くと正しく動作しません。
- ファンクションスイッチの設定を変更したら電源を再投入してください。電源を再投入しないと設定を認識できません。

スイッチ1：SCSIターミネート

SCSI接続で本機が終端機器になる場合は下側（ターミネートする）に、終端機器にならない場合は上側（ターミネートしない）にします。

ターミネートする



1

ターミネートしない



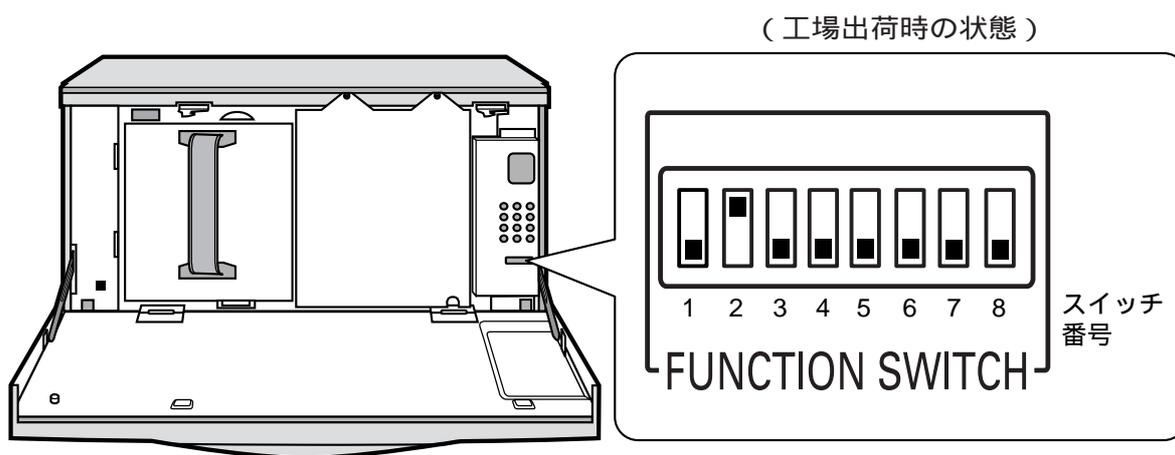
1

スイッチ2～4：SCSI ID

| SCSI ID | スイッチの状態 | SCSI ID | スイッチの状態 |
|---------|---------|---------|---------|
| 0 | | 4 | |
| 1 | | 5 | |
| 2 | | 6 | |
| 3 | | 7 | |

スイッチ5～8：

通常は使用しないので、必ず下側にしてください。



* 工場出荷時はSCSI IDが1、ターミネートする、に設定してあります。

仕様

一般

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 型式 | DVD-ROM / CD-ROMオートチェンジャー |
| 使用ディスク | 12cm DVD-ROM 12cm CD-ROM |
| ディスク収納容量 | 最大50枚 |
| 電源 | AC100V 50/60 Hz |
| 消費電力 | 24 W |
| 質量(ディスクを含まず) | 15.8 kg |
| 外形寸法 | 420(幅) x 228(高さ) x 463(奥行き) mm |
| 許容動作温度 | +5 ~ 35 |
| 許容動作湿度 | 5% ~ 85%(結露なきこと) |
| 制御端子 | ハーフピッチSCSI 50Pコネクタ(くし形) |
| サービス専用出力端子 | RCAピンジャック |

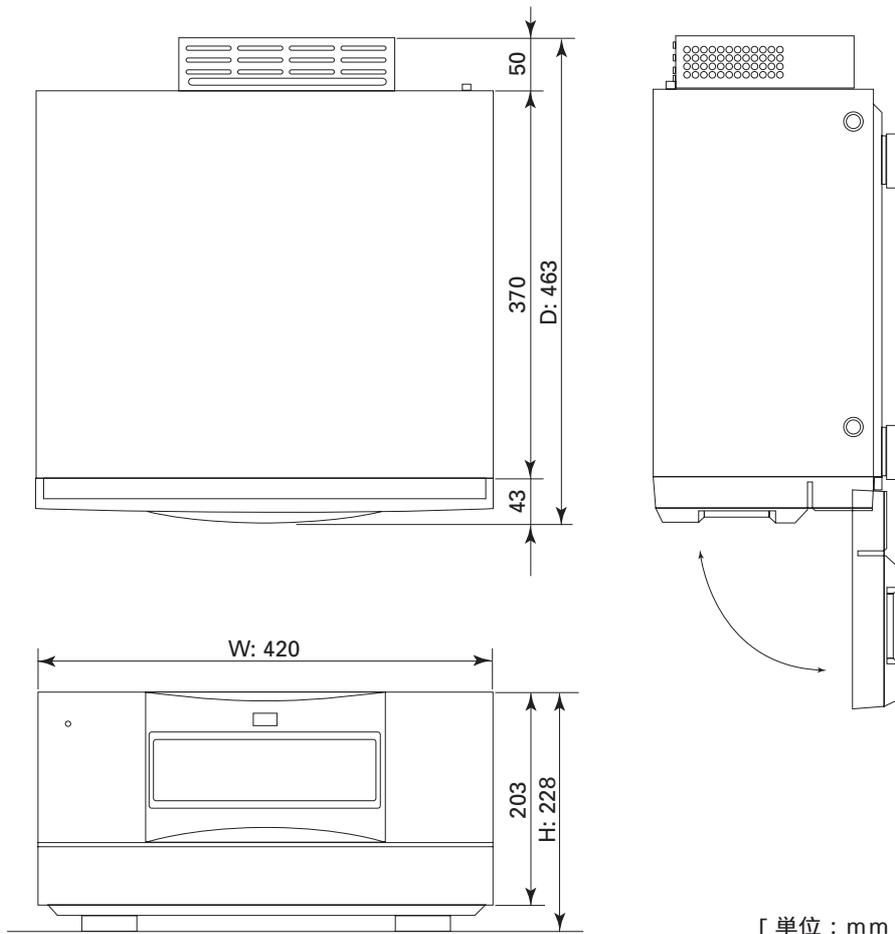
付属品

| | |
|-------|---|
| ドアキー | 1 |
| 電源コード | 1 |
| 取扱説明書 | 1 |
| 保証書 | 1 |

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

定期点検

セットの機能および性能を十分に発揮させるため、また機器の寿命を延ばすためにも定期的な保守点検を行うことをお勧めします。



使用上の注意

接続

各部の名称

操作

その他

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめて取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

保証期間について

保証期間は、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

本機を改造して使用した場合、不正使用、使用上の誤りの場合または他社製品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後最低8年間保有しています。

修理を依頼されるときは

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

お願い

故障内容によっては、製品全体を取りはずすことが必要となります。その場合には、据付業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますので予めご了承ください。

保証期間中は

万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。本機の手取店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

ご住所：
ご氏名：
電話番号：
製品名：
型番：
ご購入日：
故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
訪問ご希望日
訪問先までの道順と目標（建物・公園など）

保証期間が過ぎているときは

本機の手取店にご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

接続

各部の名称

操作

その他

この取扱説明書は再生紙を使用しています。